



あいらの

始良市議会議員

“市民くらぶ”所属

# 小田原 まさる

R5 Vol. 1

後援会だより



## STOP! 無駄金3億7千万

### 立体駐車場は平面駐車場へ

市議会議員としての一年間...

箱モノ建設には慎重な立場をとる新人議員の「おだはら」にとってのこの一年間は、これ以上の借金増には反対するという理由で、令和四年六月補正予算では四事業の先送りを求める修正案を提案したことは先の後援会だよりで述べたところです。

この修正案関連のその後の動きは、大学設置について市は断念、立体駐車場関係では「建設資材が高騰し続ける現時点で僅か三四十台を増やすだけの立体駐車場に三億七千万は不用」と主張しました。が、予想通りに建設資材市場は動き、予算と実態とは一億以上も乖



2階建立体駐車場建設事業では94台分入札不落になり平面駐車場では60台に=>結果、34台分増やすために3億7千万円...ということは、1台当り1千万円!!

離し入札不落となりました。

単純計算で、一台当たり千万円以上という予算浪費は回避されました。

一方、同年九月議会では、加治木総合支所の工事請負の仮契約議案について通常の電子投票に委ねず無記名投票による採決方法に持って行き、仮契約議案については庁舎特別委員会と同様、本会議でも否決となりました。

此処までに至った経緯は、同委員会でも慎重に審査した結果での同議案が否決となったのですが、情報が先走り、最終本会議直前に可決を促す「工事請負契約の締結に関するお願い」と称する怪文書が最終本会議開会直前に全議員に配布され、一層混乱に拍車をかけたものでした。議決に影響を与

#### 加治木総合新庁舎工事請負契約の締結に関する議案

Table with 2 columns: Name and Address. Lists members of the Teramachi City Council and their respective constituencies.

えると判断した「おだはら」も含む議員有志は、会議規則に則り動議を掛け、電子投票を回避して、傍聴席から見渡せる本会議場に設えた記載台において、各議員が自ら手書きで投票用紙に意思を示す方法を選択した結果、特別委員会と同様に否決となりました。

ただ怪文書の提出時期や誤解を招く表現もあり、多くの議員が見書の取扱いについて疑義を示し、文書等の取扱いについては一定のルールを設けることになったのは一歩前進であったものです。同関連議案は入札内容を変更して三月定例会で提案されました。此処でも「おだはら」は、事業先送りの意思を貫きましたが、定例会では残念ながら可決、加治木地区浮揚名目などで十億円を超える建設事業は認められました。